

観

京田辺

とんちの一休さんが住んだ寺
方丈庭園の前で心もゆったり

酬恩庵(一休寺)

しゅうおんあん(いっきゅうじ)

map D-4

「一休寺」の名で知られているが、正しくは酬恩庵といい、とんちで有名な一休禪師が晩年を過ごした寺。本堂は山城・大和(京都・奈良)地方で最も古い唐様式であり、重要文化財に指定されている。方丈庭園の枯山水の前で心を落ち着けて一休みするのも良い。秋には燃えるような紅葉を見ることができ、カメラを持った多くの観光客で賑わう。

とんちの縁のお寺
「一休さん」

- 所 京田辺市新里ノ内102
- 時 9:00~17:00(宝物殿は9:30~16:30)
- 料 大人(中学生以上)500円、子ども250円、団体(30名以上)450円
- 交 JR「京田辺」、近鉄「新田辺」駅より徒歩20分
- ☎ 0774-62-0193
- HP <http://www.ikkyuji.org>



名勝

方丈庭園

写真は南・東・北の三面からなる庭のうち南庭。方丈の正面に広がる最も広いこの庭は、石や砂などで山水を表現する枯山水で、自然の静けさを感じることができる。

名勝指定された
閑雅な庭園



重要文化財

一休和尚坐像

頭髪、そして髭に禪師自らの髪等を植え付けたという坐像。木像に遺髪を植え付けるのは珍しく、形にとらわれことなく本当に大切なものは精神であるという教えを人々に伝えるため禪師が作らせたものだったと言われている。

自らの髪を植え付けた
像として有名

観音寺

かんのんじ

map D-6

全国で国宝に指定されている十一面観音像は全部で7体。そのうちの1体がここ京田辺の観音寺にある。柔和な顔立ちと流れるような優美さを感じる衣部の表現。全体的に丸みを帯びた柔らかな造形は、天平時代の栄華を感じることができる。春には寺周辺が菜の花と桜で彩られ、京田辺市観光協会のイベントのひとつ「花見ウォーク」が開催される。

- 所 京田辺市普賢寺下大門13
- 時 9:00~17:00
- 料 400円の志納
- 交 奈良交通バス「普賢寺」下車、徒歩7分
- ☎ 0774-62-0668



重要文化財 千手千眼観音立像

寿宝寺

じゅほうじ

map F-5

慶雲元年に建てられた寺。度重なる木津川の洪水により、移転を繰り返し現在の場所になった。ご本尊の千手千眼観音立像は、大阪の葛井寺、奈良の唐招提寺の千手観音と並び三大名作ともいわれている。

- 所 京田辺市三山木塔ノ島20
- 時 9:00~17:00
- 料 300円
- 交 JR「JR三山木」・近鉄「三山木」駅より徒歩5分
- ☎ 0774-65-3422(要予約)

澤井家住宅では陶芸教室や、土間の響きの良さを活かしたコンサートなど様々なイベントが開かれている。

- 陶芸教室(要予約)
参加費:1,000円(材料費別)
- 染色教室(要予約)
参加費:
ハンカチ 500円
シルクショール草染め 3,000円



千の目で見
千の手で助ける
観音さん

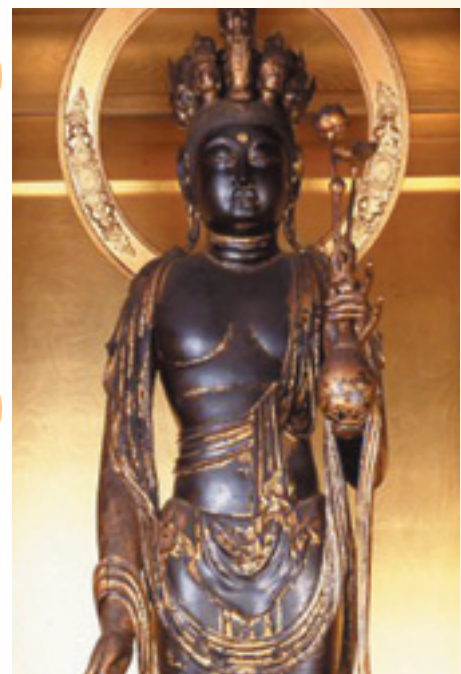
国宝

十一面観音立像

左手に紅蓮華を挿した水瓶を持ち、柔らかな顔立ちと写実的で豊麗な趣のある風姿は、天平時代の栄華をいまに伝えており、奈良朝の木心乾漆造の円熟した文化を示している。

菜の花と
桜の名所のお寺

天平時代の栄華を
伝える国宝



重要文化財

澤井家住宅

さわいけしゅうたく

map C-2

澤井家住宅は270年前の代官屋敷。平成19年に解体修理が完了し、土間の天井の大梁には、台風の被害にあった天橋立の松を使用している。ふすま、古文書、美術品など住宅の中には数多くの文化財がある。昔々のドラマを感じながら中を回るのも楽しみのひとつ。

- 所 京田辺市大住岡村55
- 時 第2・4土・日曜日の10:00~16:00
- 料 300円
- 交 JR「大住」駅から徒歩8分
- ☎ 0774-62-0146



土間では
コンサートや
おはなし会も開催!

昔懐かしいおくどさん。
「おくどさん」は
京ことばで
「かまど」のこと。

文化財の宝箱! お宅拝見!